

名古屋市立大学の「今」を伝える広報誌



特集

研修希望者定員満員の受け入れ(フルマツチ)を達成した名市大病院 総合研修センターのメンバーで撮影(→P1)

特集① **みどり市民病院・こうせいみらい光生病院が**
医学部附属病院として開院します

特集② **名市大病院が初期臨床研修で歴史的快挙**
完全フルマツチ達成！

- 01 特集
- 02 TOPICS
- 04 学生の受賞
- 05 学生の活躍／表彰関連
- 06 国際交流
- 07 イベントカレンダー／受賞関連／教員著書・発行物紹介／寄附顕彰

DONATION

あなたの力が支えます

ご寄附のお願い

名古屋市立大学では、高いレベルの教育、研究、医療などの活動を展開し、市民に開かれた大学づくりを実践していくために、寄附金を募集しております。

問合せ：総務部 総務課
tel.052-853-8005

01 みどり市民病院・みらい光生病院が 医学部附属病院として開院します



2023年4月に、名古屋市立緑市民病院・名古屋市厚生院附属病院が名古屋市立大学医学部の附属病院となり、「みどり市民病院」・「みらい光生病院」に生まれ変わります。これにより、名古屋市立大学病院・東部医療センター・西部医療センターとあわせて、附属病院群で約2,200床の病床数となり、5つの病院からなる附属病院群として、各病院が特長を生かしながら、高度急性期から慢性期まで幅広い医療を提供していきます。

名古屋市立大学医学部附属 みどり市民病院

地域密着型の大学病院として、地域医療のニーズに的確に対応した安全で高度な医療を提供する病院です。これまでの緑市民病院の医療や健診事業を継承しつつ、救急の初期対応の充実や多様な疾患に対する治療を行うとともに、予防医療など地域住民の健康づくりを支援し、健康社会の実現に貢献してまいります。また、附属病院群として初となるAIを用いた内視鏡機器や整形外科手術支援ロボットを導入を予定しており、高度専門医療の強化も図ってまいります。



外観



AIを用いた内視鏡機器



3.0T MRIを新規導入
※共同利用検査をご利用いただけます。



エントランス(改修後イメージ)

名古屋市立大学医学部附属 みらい光生病院

健康寿命の延伸に向けて、心身機能の回復・維持を目指した医療を提供する病院です。さまざまな疾患に対して、関連する診療科が連携して横断的に診療を行う体制を整え、認知症やフレイルへの対応のほか、先駆的な技術を駆使したリハビリテーションを実施し、入院時から在宅生活を視野に入れた治療の提供と退院支援等、質の高い医療を提供してまいります。

また、附属病院化を機に、予約制の専門外来を開始し、回復期リハビリテーション病棟を開院します。

2病院のロゴマークが決定しました！

このたびの2病院の名称変更に伴い、これまで以上に地域の皆さまに親しまれる病院としていくために、本学関係者および地域の皆さまから広くアイデアを募集し、各病院の新たなロゴマークを決定しました。

■みどり市民病院ロゴ【製作者の意図】(原文より一部抜粋)

「緑」が「みどり」と平仮名に改称されたことを強調するため、「み」から図案。90度時計回りに回転させて、花のイメージを作った。葉は両手を広げ、地域の方々をお迎えしている。花は「診る心」「学ぶ心」とともに、地域医療へ貢献する「ケアの心」という思いを込め、ハートの形にした。



■みらい光生病院ロゴ【製作者の意図】(原文より一部抜粋)

「みらい」の「M」とも「光生」の「K」とも連想でき、かつ百寿社会に資する先端研究を行い、優れた医療人を育成するという理念を重要視し、ヒューマンライクなデザインとした。また、全体のイメージとして、光り輝く太陽や広がる未来を、さまざまな世代の人たちに感じてもらえるよう考案した。



02 名市大病院が初期臨床研修で歴史的快挙 完全フルマッチ達成！



初期臨床研修医の本年度のマッチングにおいて、当院定員37名中37名の完全フルマッチ(100%で全国同率1位)を達成しました。全国の大学病院が若い力の獲得に大変苦戦しているなかで、この結果は歴史的快挙と捉えています。

当院の初期臨床研修はPG1の名市大病院2年基盤コース、PG2の連携たすきがけコース、PG3の小児科重点コース、PG4の産婦人科重点コースの4プログラムから構成されており、約8割を占めるPG2の研修医は1年次を協力型病院で研修します。とくに東部・西部医療センターとの3大学病院での連携研修は、全国の医学生にとってインパクトの強いものになっており、それが歴史的成果につながったと考えています。名古屋市立大学附属病院群での初期研修を、さらに魅力的なものにするために、林祐太郎センター長のもと、総合研修センター一同心を合わせて邁進してまいります。



東部医療センター(左)、西部医療センター(右)の先生方に連携研修の説明をする林センター長



TOPICS

名古屋市立大学の最近のトピックス・主な出来事をご紹介します。

DATE 2023.4



「TAKI teria」の外観イメージとロゴ

飲食交流施設「TAKI teria」が4月、滝子キャンパスにオープン！

滝子キャンパスに4月にオープンする飲食交流施設の名称が決定しました。施設名称は「TAKI teria」です。学生から公募し、学生・教職員の投票により決定したこの名称には「自らの嗜好に合わせて好きな食べ物を選択できるようにした食堂」であるカフェテリアと絡めて、学生が自らの目的に合わせて好きな使い方を選択できるような施設になるようにという想いが込められています。1階にはおいしい食事やドリンクが楽しめるカフェスペースや自習もできるカウンター、2階にはゆったりと寛げるソファ席やゼミ利用も可能なビッグテーブルスペースが設置されます。現在、カフェテリア運営会社が学生や教職員のニーズに合わせたメニューを考案中ですのでご期待ください。オープン後の皆様のご利用をお待ちしています。



DATE 2022.11~2023.1

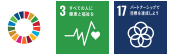
名古屋市立大学病院 東部医療センター 西部医療センター 薬学部 看護学部

名古屋市新型コロナウイルスワクチン(オミクロン株対応) 大規模集団接種へ医療従事者を派遣しました

新型コロナウイルスワクチン(オミクロン株対応)の接種機会提供のため、名古屋市が2022年11月から2023年1月にかけて実施したイオンタウン有松における大規模集団接種へ、本学から医師・歯科医師・看護師・薬剤師を派遣し、予診・接種・薬剤管理等の業務に従事しました。また、接種希望者の増加が見込まれた2022年12月には、本学看護学部棟にも接種会場が特別に開設され、同会場についても同様に職員を派遣し、運営に協力しました。

開催場所	期間	派遣人数
イオンタウン有松	2022年11月11日(金)~ 2023年1月31日(火)	のべ 708名
名古屋市立大学	2022年12月の 土曜日・日曜日	のべ 96名

※期間中に休場日あり



名古屋市感染症対策室と学生がコラボで 啓発資材を作成しました

医薬連携地域参加型学習の一環として、本学の医学部・薬学部・看護学部1年生9名のチームが名古屋市健康福祉局感染症対策室と協働でエイズ予防啓発活動を行いました。学生が主体となり、オリジナル予防啓発資材ウェットティッシュをデザインし、配布場所も名古屋市のアドバイスを受けながら考えました。10月から12月にかけて、本学の学園祭やキャンパス内で計4000個の配布を行いました。また世界エイズデーに合わせFM AICHIにも医学部生2名が出演し、本学の医薬連携地域参加型学習の活動紹介や若者への予防啓発の重要性について話しました。



学生デザインのオリジナル予防啓発ウェットティッシュ

DATE 2023.3.13

東部医療センター 新駐車場が供用開始されました

東部医療センターにおける来院者用駐車場等の外構整備が完了し、2023年3月13日(月)より全面供用開始されました。新たな駐車場では、構内を安全に利用頂けるよう送迎用の周回車路を設け、車路沿いに送迎場(車寄せ)、タクシーのりば、バイク置場、自転車置場を配置しています。工事により長らくご不便をおかけしましたが、今後はより便利になった駐車場を来院の方々にご利用頂けるようになります。詳細については、東部医療センターのHPをご確認ください。



来院者用駐車場 正面出入口付近

東部医療センター

整形外科用ロボット支援手術システム「CORI」を導入しました

東部医療センターでは、より安全かつ正確な人工膝関節置換の実現のため、スミス・アンド・ニュー社の整形外科用ロボット支援手術システム「CORI」を愛知県内で初めて導入しました。CORIは人工膝関節置換術において、患者様の骨やひざの位置、動きを正確に認識し医師が決めた範囲の骨のみを切除するようコンピューターが制御する手術支援ロボットです。患者様一人一人の膝の状態を手術中にシステムに読み込ませることで、オーダーメイドな手術をサポートし、患者様の膝の状態に応じた人工膝関節システムを提供することが可能となります。CORIの導入により、手術による患者様の負担を軽減し、患者様の早期回復、早期社会復帰を目指し、これまで以上に良い治療を提供してまいります。



整形外科用ロボット支援手術システム「CORI」

DATE 2022.12.19~2023.1.26

西部医療センター

ヘルスケアアート展示を行いました

2022年12月19日(月)~2023年1月26日(木)、西部医療センターにおいて、ヘルスケアアートのボランティア活動に取り組むチョコレート教室「アーティスティック チョーク」様のご協力のもと、クリスマスやおせち料理など「冬」をテーマとしたチョコレートアートの展示を行い、多くの方に目を留めていただきました。

ヘルスケアアートとは、健康で持続可能な社会と人々のウェルビーイングを目指し、アートを活用して医療福祉施設などの環境ストレスを軽減し、人々の絆と生きる力を引き出す取り組みです。「つらい・しんどい」ことの多い病院だからこそ、ほんの少しでも明るい気持ちになっていただけるような環境づくりが大切です。今後も訪れる皆さんのこころをほっと癒す取り組みを企画していきます。



「アーティスティック チョーク」代表の稲垣さん(右)、所属作家の吉峯さん(左)

大学院 医学研究科

医学研究科の齊藤貴志教授が「Highly Cited Researchers 2022」に選出されました！

Highly Cited Researchersは、Clarivate社によって、世界最高峰の研究者を高被引用論文著者として毎年選出・発表されるものです。2022年は、世界69の国と地域の多様な研究領域から、世界的に極めて重要で広い影響力を發揮している研究者として6,938名がリストアップされており、日本で選ばれた90名の研究者のうち、本学からも医学研究科の齊藤貴志教授がCross-Field分野で選出されました。

齊藤教授は「認知症・アルツハイマー病研究に資するモデルマウスの開発とそのマウスを活用した疾患発症機構の解明」に取り組んでおり、国内外の多くの共同研究者と一丸になって研究を進めています。齊藤教授からは「選出して頂いたことに驚きでしたが、大変光栄に思います。更なる高みを目指して一步一步着実に研究を進めていきたいと思います」とのコメントを頂いています。



齊藤貴志教授

桜山キャンパスで行ったセミナー・講演会の開催報告

なごや看護生涯学習セミナーを開催

2022年7月～12月にかけて、看護保健医療福祉職者を対象に、看護研究セミナー3件、看護実践セミナー4件を実施しました。看護研究セミナーには、これから研究を始める方、看護実践セミナーには、現場で役立つスキルを身につけたい方々が参加されました。セミナー終了後のアンケートには、「実際に体験でき学びが深まりました」「少人数だったので個人的なことがたくさん質問できありがたかった」などの声を聞くことができ、受講者にとって充実した学びの場となりました。

なごや看護生涯学習公開講演会を開催

2023年2月1日(水)、認定NPO法人マジーズ東京 共同代表理事 秋山正子氏をお招きし、「人生100年時代 最期まで暮らし続けられる地域をめざして」をテーマにご講演いただきました。21世紀は地域包括ケアの時代。長寿化し、治す医療よりも支える医療が重視される中では、個人の力を引き出し、地域で支え合う仕組みが重要です。講演会では、人生の最終段階への温かく自然なサポート、予防から看取りまでを担う看護の役割について具体的事例を挙げてご説明いただきました。Zoomによる遠隔ライブセミナー形式でのご講演でしたが、わかりやすい説明が参加者にも大変好評で、盛況に終わりました。



講演会の様子

第71回 公立大学附属病院長・事務長会議を開催しました

2022年10月14日(金)、名古屋市立大学病院にて第71回全国公立大学附属病院長・事務長会議を開催しました。本会議は、大学病院をとりまく医療の状況や病院運営上の諸課題について討議するものとして3年ぶりに対面開催され、当日は全国11の公立大学附属病院長・事務長が一堂に会し、医師の働き方改革に対する各病院の取り組み状況などについて意見交換を行いました。また、厚生労働省の田中彰子参事官より、「医療における情報化の推進および医療DXについて」の講演をいただきました。



会議出席者による記念撮影

「再解釈 ポーランドの現代ポスター芸術」ポスター展を開催しました

2022年10月22日(土)～30日(日)に北千種キャンパスにおいてポーランドのポスター芸術を紹介する展覧会を開催しました。期間中、ポーランド発のデザイナーの作品を日本で普及させることを目的に、ポスターやブランディングを手掛けるグラフィックデザイナーのクキ・クシュトフ・イヴァンスキ氏も来日し、芸術工学部グラフィック研究室の3年生とモーションポスターワークショップを行いました。多くの市民の方もご来場いただき、盛会裏に終了しました。



芸術工学研究科フィルフォヴァ・ネダ准教授(左から2番目)、クキ・クシュトフ・イヴァンスキ氏(右)

サイエンスパートナーシップイベント「ヒトに関わる生命科学」を開催しました

2022年11月5日(土)、中高生を対象としたサイエンスパートナーシップイベント「ヒトに関わる生命科学」を市科学館にて開催し、28名に参加いただきました。本学からは薬学研究科 山村寿男教授と理学研究科 木藤新一郎教授が、創薬やβ-グルカンをテーマとした最新の研究を紹介し、科学館からは山内智子学芸員が、科学館の新しい展示室「人体のふしぎ」について熱弁を振りました。参加者からは「研究者や学芸員の方の情熱を肌で感じることができた」などの感想が寄せられ、次世代を担う中高生に向けて「生命科学」の魅力を伝えるよい機会となりました。



講演会の様子

「文化遺産の復元」パネル展とシンポジウムを開催しました

2022年11月11日(金)～18日(金)に北千種キャンパスにおいて芸術工学研究科の青木孝義教授と向井純子特任助教が学生有志とともに、火災で甚大な被害を受けたパリ・ノートルダム大聖堂と首里城、そしてブータンのウォンディ・ゾンの復元の考え方や現状をテーマとした「文化遺産の復元」パネル展を開催しました。また11月13日(日)にシンポジウムを開催し、上記3つの事例を取り上げ人々の復元に対する想い、そして文化遺産を復元することの意味を考えました。



パネル展の様子

気持ち悪～いを体験！「注文の多い『からだの錯覚』研究室展2ー人体の幾何学的転回ー」開催しました

2022年11月25日(金)～27日(日)に名古屋青少年文化センター・アートピア(ナディアパーク内)において芸術工学研究科の小鷹研研究室が「注文の多い『からだの錯覚』研究室展2ー人体の幾何学的転回ー」を開催しました。小鷹研究室が考案する「身体変形」「身体の透明化」「幾何学的転回」「身体のモノ化」「主客反転」を、HMDを使ったVRコンテンツや鏡の効果を使った錯覚装置などで様々な錯覚が体験できる参加型の展示となりました。また、体験展示の1つである「スライムハンド錯覚」については、日本認知科学会での大会発表賞の受賞(→P4)や、各メディアにも取り上げられるなど、大きな注目を集めています。



スライムを使って気持ち悪～いを体験中

データサイエンス学部の開設にあたり名古屋市長を表敬訪問しました

2022年12月26日(月)、2023年4月のデータサイエンス学部の開設にあたり、赴任予定の教員らが河村市長を表敬訪問しました。三澤学部長予定者をはじめ、訪問した教員らによりデータサイエンス学部で予定されている多様な研究や人材の育成について説明するとともに、名古屋市との連携等について懇談しました。河村市長からは、「市民の皆さまが喜ぶような活躍を期待している。」とのお話をいただきました。



DATE 2023.1.25 / 2.15

都市政策研究センター

「2022年度連続セミナー」を開催しました

人口減少や少子高齢化が進むなかでも、中部地域には現場起きの活力あるまちづくりが進んでいます。今年度は「中部発・現場起きのまちづくり」をテーマとし、芸術工学研究科の大野暁彦教授による「空間デザインによる「場」のアイデンティティ」、人間文化研究科の林浩一郎准教授による「名古屋駅裏のまなざし一戦後闇市の創造的破壊」といったランドスケープ研究や都市社会研究の視点から、中部地域のまちづくりを学び、将来を展望するセミナーをオンラインで連続して開催しました。参加者からは、まちづくりに関して活発な意見交換がなされ、都市政策の最新動向を学ぶよい機会となりました。



大野准教授



林准教授

DATE 2023.2.13

高等教育院

FD・SD講演会を開催しました

2023年2月13日(月)、「多様化する障害学生の支援について」をテーマに、FD・SD講演会を開催しました。当日は、筑波大学ヒューマンエンパワーメント推進局より、中野泰助助教をお招きし、発達障害をはじめ、心身にさまざまな障害を抱える学生の実状や、適切な支援についてご講演いただきました。障害学生が抱える困難を理解し、大学にはどのような配慮が求められているのか、教職員が考える機会となりました。本学では、今後も全ての学生が修学の機会を確保できるよう、個々の学生に応じたよりよい支援内容の検討を、学内全体で行ってまいります。



FD・SD講演会の様子

DATE 2023.2.19

名古屋市立大学大学史資料館シンポジウムを開催しました

2023年2月19日(日)に、本学在学生・卒業生・教職員や一般の方を対象に、オンラインにて大学史資料館シンポジウムを開催しました。はじめに、東海国立大学機構大学文書資料室特任助教の堀田慎一郎先生に「過去・現在・未来をつなぐ大学アーカイブズ」と題し、本学の公文書が「行政文書」であり、その中には、「歴史公文書」として保存が必要となる文書があるということをお話しくださいました。続いて、本学大学史資料館館長・人間文化研究科の阪井芳貴教授のコーディネートのもと、堀田先生に加え、名古屋市博物館学芸課長の瀬川貴文氏、本学人間文化研究科の山田美香教授をパネリストに迎え、「名古屋市の教育史と大学史資料館」と題したパネルディスカッションを行いました。当日は50名が参加し、活発な質疑応答も行われました。



シンポジウムの様子

DATE 2023.2.26

SDGs IDEA コンテストを開催しました

本学は、SDGs達成に向けた名古屋市の地域課題を大学生のアイデアで解決に導く「SDGs IDEA FORUM 2022」を名古屋市と共催しました。総数25件の応募アイデアのうち、書類審査を通過した優秀8チームが参加する「SDGs IDEA コンテスト」が2023年2月26日(日)に本学さくら講堂で開催され、本学から参加した「ばくツーリズム」(人文社会学部3年)が最優秀賞、「濱口ゼミ」(経済学部4年)が特別賞を受賞しました。



最優秀賞を受賞した「ばくツーリズム」(人文社会学部3年)

学生の受賞

※学年は受賞時

大学院 薬学研究科

第34回 日本マイクログラビティ応用学会 毛利ポスターセッション優秀賞

<受賞者>薬学研究科 コロイド・高分子物性学分野 博士後期課程2年 三木 裕之 さん



第43回 日本臨床薬理学会学術総会 優秀演題賞

<受賞者>薬学研究科 レギュラトリーサイエンス分野 博士前期課程2年 中森 瑞季 さん(写真左)



第7回「うま味調味料活用」郷土料理コンテスト2022 準優勝

<チーム名>だかやがやがや <料理名>岐阜県「鶏ちゃん」 <受賞者>薬学部 薬学科5年 鶴見 建斗 さん(写真右) 山内 一輝 さん(写真左)



経済学部

東海学生アワード2022 最優秀賞

<受賞者>経済学部4年 古田 莉穂 さん(写真右)



2022年度 WEST論文研究発表会 現状分析賞

<発表論文>「国際水素サプライチェーン構築の支援促進—脱炭素社会実現を目指して—」

<受賞者>経済学部 板倉ゼミ3年9名
秋田 優作 さん、石井 麗英 さん、石橋 颯真 さん、小口 真央 さん、川北 真依 さん、川端 美紅 さん、長江 崇哉 さん、花部 将太 さん、米田 有樹 乃 さん



大学院 芸術工学研究科

日本認知科学会第39回大会 大会発表賞

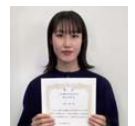
<作品名>「Slime Hand」における主観的な皮膚伸長距離の同定 <受賞者>芸術工学研究科 博士前期課程2年 今井 健人 さん



芸術工学部

日本造園学会中部支部大会 優秀学生発表賞

<受賞者>芸術工学部 建築都市デザイン学科4年 宮脇 由奈 さん



土木設計競技景観開花「Multi-funAction」最優秀賞

<作品名>「はし わたし」 <受賞者>芸術工学部 建築都市デザイン学科3年5名 (写真左から)西田 隼 さん、細川 明日香 さん、土居 彩葉 さん、疋田 結子 さん、山田 竜司 さん



おいしい映画祭2022 学生部門 コンペティション受賞

<作品名>Dinner <受賞者>芸術工学部 情報環境デザイン学科4年 水谷 航 さん、一柳 ひまり さん



公益財団法人 日本デザイン振興会 2022年度 グッドデザイン・ニューホープ賞

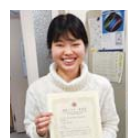
<作品名>—伝統の革新— 尾張仏具がつくる新しい祈りのカタチ「影の音」 <受賞者>芸術工学部 産業イノベーションデザイン学科4年 幸田 悠 さん(写真左)、黒田 和香 さん(写真右)



総合生命理学部

「第12回 CSJ 化学フェスタ 2022」優秀ポスター発表賞

<受賞者>総合生命理学部4年 中園 里奈 さん





学生の活躍



かやっかーず(経済学部3年):
(左から)山崎 むなつさん 村下 経征さん
高間 駿さん 藤原 未彩さん

【経済学部】産学連携商品開発連携プロジェクト

「Student Innovation College 2022」にて 受賞&商品化権利を獲得!

2022年12月10日(土)、Student Innovation College(通称Sカレ)2022にて、経済学部3年生のチーム「かやっかーず」の提案企画「ナイトカヤック+Folding towel」が、テーマ部門「アウトドア商品・PR企画」において全国1位となり、日本マーケティング学会賞を受賞。商品化権利を獲得しました。



【芸術工学部】若者の選挙参加啓蒙の動画コンテンツを制作しました

2022年11月、名古屋市選挙管理委員会と芸術工学部の学生が協働で若者の選挙参加啓蒙の動画コンテンツを制作しました。制作動画は18歳の若者をターゲットにした選挙参加推進のためオリジナルコンテンツとして、名古屋市の公式チャンネルで公開されています。

＜制作＞芸術工学部2年 芝田 真帆(下段左端)、1年 森下 稀菜(下段右2番目)
1年 高橋 みのり(下段右端)



北千住キャンパスでの撮影風景



【経済学部】企業と連携して製品化!

3年生のチームが独自に考案したボードゲーム「HAMON」が注目を集めています!

経済学部3年生のチームがボードゲーム「HAMON(ハモン)」を独自に考案し、企業と連携して製品化されました。本学のアントレプレナーシップ教育(起業家教育)のゼミ活動の一環として始まったこの活動は、そのアイデアがビジネスコンテスト最高賞を受賞したり、各メディアに取り上げられるなど、注目を集めています。



ボードゲーム「HAMON」

Tongali アイデアピッチコンテスト2022で最高賞を受賞!

起業や新事業、社会貢献などのアイデアを競うTongali アイデアピッチコンテスト2022にて、経済学部3年生のチーム「HAMON」がTongali賞(最高賞)、サポーター賞(博報堂プロダクツ賞)をW受賞しました。



Tongali アイデアピッチコンテスト2022
W受賞の様子

【人文社会学部】

また、このコンテストでは人文社会学部4年生によるチーム「with. WEAR」が『コンプレックスを活かすスタイリングサービス』をテーマとした発表でサポーター賞を受賞しました。

Youth Enterprise トレードフェア2022で最高賞を受賞!

アントレプレナーシップ(起業家的行動能力)育成教育の実践発表会「Youth Enterprise トレードフェア2022」にて、同じく経済学部3年生の食品廃棄物を活用した雑貨の製作・販売事業を提案した「lien」との合同チーム「HAMON & lien」として、社会貢献度が最も高かったチームに贈られる『京都府知事賞』(最高賞)と、生徒・学生が選ぶ一番良かったチームに贈られる『スチューデント賞』をW受賞しました。



Youth Enterprise トレードフェア2022の様子

令和4年度 永年勤続職員表彰



永く、本学で勤め、支え続けていただいた皆さまへ、心より深く感謝いたします。今後も健康にご留意いただき、ますますのご活躍をお祈りいたします。

■30年勤続表彰



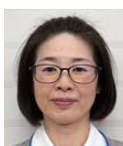
三澤 哲也
教授(経)
益々発展する名市大での
勤務に誇りと感謝!



丸谷 幸子
看護師(病)
皆様の温かいご支援に
深く感謝致します。



徳光 昭夫
准教授(理)
学生の成長の礎になって
いれば幸いです。



成瀬 久美
看護師(病)
多くの学びを得、
毎日が感謝で一杯です。



飯田 博之
係長(事)
支えて頂いた方々に感謝し
精進して参ります。



稲垣 由紀子
看護師(病)
支えていただいた皆様に
感謝いたします。

■20年勤続表彰

田原 美奈子 司書
森田 裕 助教(医)
金澤 智 助教(医)
祖父江 和哉 教授(医)
杉浦 健之 教授
(診療担当)(医)
梅澤 直樹 教授(薬)
寺島 宏 係長(技術)(病)
吉谷 千枝 看護師(病)

寺西 幸子 看護師(病)
太田 優美 助産師長(病)
藤田 紘子 助産師(病)
辻 真希 看護師(病)
佐藤 裕美子 看護師(病)
大串 陽子 看護師長(病)
裏 尚子 看護師(病)

※所属
(事):学部事務室 (医):医学研究科 (薬):薬学研究科
(経):経済学研究科 (理):理学研究科 (病):名古屋市立大学病院

国際交流

INTERNATIONAL ↔ EXCHANGE



経済学部

経済学部とハノーファー大学(ドイツ)の 経済経営学部が学部間交流協定を締結しました

2022年8月11日(木)、本学の経済学部とハノーファー大学(ドイツ)の経済経営学部が学部間交流協定および学生交流協定を締結しました。この協定は、同大学Marcel Prokopczuk教授と、経済学研究科の坂和秀晃准教授が研究交流を行ってきたことにより実現したものです。

本学の日本人学生が2023年4月より同大学へ交換留学予定で、今後、研究交流だけでなく学生の交流も期待されます。



ハノーファー大学(ドイツ)

南京曉庄学院(中国)と 大学間交流協定を締結しました

2022年10月12日(水)、人間文化研究科の山田美香教授と国際交流センターが中心となり南京曉庄学院(中国)と大学間交流協定および学生交流協定を締結しました。

同大学は、名古屋市の友好都市である南京市に位置しており、両大学の国際的な連携が期待されます。今後、学生交換プログラムも開始される予定です。



南京曉庄学院(中国)

国際交流センター公式学生団体 NCU GO! が 秋学期留学生 Welcome Party を開催しました

2022年10月22日(土)、国際交流センター公式学生団体NCU GO!により、「秋学期留学生Welcome Party」が開催されました。パーティーでは、ジェスチャーゲーム、〇×ゲーム、ビンゴゲームなどで盛り上がり、日本で人気の多種多様なお菓子を詰め込んだ景品が配られました。トークタイムには、ふるさと自慢や日本の好きなど、どのようなことを勉強しているのかなど、色々なテーマについて話し合い、親睦を深めました。



パーティーでの記念写真

ルートヴィクスハーフェン経済大学(ドイツ)の レーヴェカンブ教授が本学を訪問し、講演を開催しました

2022年11月11日(金)、本学の海外協定校のルートヴィクスハーフェン経済大学よりフランク・レーヴェカンブ教授(同大学東アジアセンター所長)が本学を訪問し、浅井学長、横山国際交流センター長、経済学研究科下野教授と今後の交流に関する打ち合わせを行いました。また、同日「岐路に立つドイツのエネルギー政策 欧州の最新事情から日本の今後を読み解く」と題する講演会を開催し、本学学生・教職員合わせて36名が参加しました。

当日は、講師による欧州情勢・エネルギー問題等に関する講義の後、参加者とのQA、フリーディスカッションが行われました。参加者からは、今後のエネルギー戦略等に関する積極的な質問や発言がありました。



講演会の様子



(左から)浅井学長、フランク・レーヴェカンブ教授、横山国際交流センター長

芸術工学部

芸術工学部と ラリオハデザイン学校(スペイン)が 学部間交流協定を締結しました。

2023年1月19日(木)、芸術工学研究科のフィルフォヴァネダ准教授が中心となり計画を進め、ラリオハデザイン学校(スペイン)と芸術工学部が学部間交流協定を締結しました。

芸術工学研究科の学生の交換留学と教員の派遣が既に計画されており、今後の交流発展が期待されます。



ラリオハデザイン学校(スペイン)

鶴舞中央図書館主催絵本の読み聞かせイベントに 本学留学生が参加しました

2022年12月17日(土)に鶴舞中央図書館主催、本学国際交流センター協力により「せかいのこたばでおはなし会」が開催され、本学の留学生3名が参加しました。このイベントは2014年から毎年開催されており、留学生がそれぞれの母語で絵本の読み聞かせをするというもので、本年は中国語、タイ語、韓国語で行われました。来場者は4歳前後のお子さんやその保護者ら合わせて24名でした。絵本の朗読以外にも、スライドショーを用いた出身地の紹介や各言語の数字の数え方を学ぶお楽しみの時間が設けられ、子どもたちと一緒にそれぞれの言語で、一、二、三、を数える場面も見られました。



読み聞かせを行った留学生の皆さん



おはなし会の様子

イベント参加者募集!

名古屋市立大学が主催するさまざまなイベントの情報をお届けします。ぜひご参加ください。

■内容・場所・申込方法等の詳細は、ウェブサイトをご覧ください。



開催日	内容	時間・場所・費用など	申込方法
7.29 SAT	看護地域連携センター事業 第10回 地域連携セミナー 講演者：大学院看護学研究科 在宅看護学 准教授 井上 高博 大学院看護学研究科 高齢者看護学 准教授 小山 晶子 テーマ：「認知症のとらえ方を皆で変えよう! 人生100年時代の認知症予防と認知症ケア」	13:00～15:00 桜山キャンパス 看護学部棟 308講義室 費用:500円 定員:80名程度	参考URL: https://www.nagoya-cu.ac.jp/nurse/center/community-seminar/ 申込:名古屋市電子申請サービスまたはメール、往復ハガキ TEL:052-853-8042 (不在時:052-853-8037) Eメール:n.center@med.nagoya-cu.ac.jp 受付:4月11日(火) 10:00～

※令和5年度より、看護実践研究センターは看護地域連携センターに名称変更します。

PRIZE 受賞

※受賞期間:2022年9月～12月頃 ※研究科・学部ごと、受賞日順に掲載

■医学研究科



第65回 日本消化器内視鏡学会 東海支部例会 若手研究者優秀演題奨励賞
 医学研究科 消化器・代謝内科学
 稲垣 貴文 (初期研修医2年次)

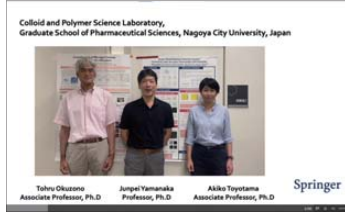
■芸術工学研究科



2022年度 日本アートマネジメント学会賞
 なごやヘルスケア・アートマネジメント推進プロジェクト実行委員会

(写真左端)実行委員長の芸術工学研究科 鈴木賢一教授

BOOKS 教員著書・発行物紹介



Springer Nature Video
「A Visual Guide to The Study of Colloidal Self-Assembly」

コロイド科学の実験・計算機シミュレーションの基礎、およびコロイド自己集合に関する研究成果を、研究室の学生とともに1時間程度の英語版ビデオにまとめた動画教材です。

著者:薬学研究科 教授 山中 淳平
 薬学研究科 准教授 奥蘭 透
 薬学研究科 准教授 豊玉 彰子

出版:2022年9月12日 Springer-Nature社

寄附顕彰

大学振興基金

■個人
 10万円以上 尾畑 英和 様、加藤 いつみ 様、徳倉 正晴 様
 1万円以上 奥野 友介 様、下上 貴子 様
 5千円以上 倉田 拓哉 様
 非公表 尾関 千里 様、三宅 勝 様

■団体
 10万円以上 尾崎ハウス工業株式会社 様


名市大生みらい応援基金

■個人
 10万円以上 玉井 浩子 様
 非公表 浅井 清文 様、伊藤 恭彦 様、尾関 千里 様、山田 歩実 様

■団体
 10万円以上:ひさぎ会 様

※五十音順。2022年10月1日から12月31日までに寄附をいただき、公表に同意された方。※インターネットからお申込みいただいた方につきましては、クレジットカード会社または決済代行会社から本学へ入金された日が上記期間に該当する方。※古本募金により寄附をいただいた方につきましては、連携会社から本学へ入金された日が上記期間に該当する方。

感謝状贈呈式が行われました
 名市大生みらい応援基金に対して、株式会社ナオツ一様より高額のご寄附をいただきました。そのご厚意に対し、郡理事長から感謝状が贈呈されました。



株式会社ナオツ一様

「大学スマホ・サイト ユーザビリティ調査2022-2023」で全国第3位の評価をいただきました

株式会社日経BPコンサルティングが、使いやすさや実用性の観点から大学のスマートフォン・サイトを評価する「大学スマホ・サイトユーザビリティ調査2022-2023」を実施した結果、本学が全国第3位の評価をいただきました。この調査は、大学サイトを8つの診断指標によりスコア化し診断するもので、対象の大学サイトは、国立・公立・私立の270校です。

今後も、本学では誰もが使いやすいわかりやすいウェブサイトを目指してまいります。

総務部 広報室

【SDGsのアイコン(1~17のGOAL)】

SDGsとは「Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標」の略称で、17のGOALが設定されています。本学もSDGs達成に向けた活動を推進しているため、関連するGOALのアイコンを各記事に表示しています。



募集中!

広報誌「創新」のご意見・ご感想などをぜひ総務部 広報室までお寄せください!

▶▶▶ E-mail : ncu_public@sec.nagoya-cu.ac.jp

●本誌掲載の写真は、撮影時のみマスクを外しております。